

第二回全国俳句大会 支部別全投句作品一覧

東北支部										支部名	北海道支部								支部名			
										受賞									受賞			
										入賞	優秀賞											
水打ちて白線際やか甲子園	夕立過ぐ茄子の紫紺ひとしおに	養生の妻の粥吹く涼夜かな	風鈴の隣家と和する音色かな	青年の毛捨天つく日の盛り	カナカナやゆるり首向く牧の牛	はたた神擲 手近き弓場かな	啞蝉の不意に飛び立つ仁王門	どうしてとなにの連発夏休み	山道を追ひ越してゆく驟雨かな	投句作品	走馬灯とめて彼の世界の父と酌む	蝉しぐれ般若心経くりかへす	七夕のくりだす子等の少なけり	風鈴よ亡父みたまか祥月忌	石楠花の蕾 数多や喜寿の朝	あの日からにぶく聞こへる鉄風鈴	奥入瀬に木漏れ日揺れて川面撫で	奥入瀬のせせらぎ鎮め蝉時雨	会員氏名 (敬称略)			
菊池 宏	菊池 宏	石黒 秀雄	石黒 秀雄	陶山 芳子	陶山 芳子	小山 昭雄	小山 昭雄	清水 孝	清水 孝	会員氏名 (敬称略)	佐藤 英介	佐藤 英介	佐々木 三枝	佐々木 三枝	佐々木 浩	佐々木 浩	小田島 恭士	小田島 恭士	会員氏名 (敬称略)			

第二回全国俳句大会 支部別全投句作品一覧

関東支部																		支部名		
																	受賞			
神主を訝り見上げ七五三	夕立へゆらりゆるりと日光線	磯にごみ拾う父子や夏惜しむ	ふと触れし傘持つ指先夕立かな	葉は花を花は葉を見ぬ曼珠沙華	入賞 三越へ踵を返す夕立かな	親の背を流すことなく墓洗ふ	今日生きて明日も生きたし秋の蝉	蝉しぐれ命限りの四重唱	夕立やピカソの描くキュービズム	黄金の恵み麦秋の夕餉かな	入賞 夕立に見舞いそこそこ忙しき	夕立の街を裂き行く救急車	二杯目のコーヒー甘し大夕立	二重三重社に時雨る蝉の声	江戸風鈴調子はずれを求め来ぬ	会長賞 タツチタウン汗のボールをつなぎけり	短き世思いの丈を蝉時雨	のうぜんの一花を零すあまり風	かも風鈴ひと日売らるる道の駅	支部名 受賞
増田 信	増田 信	富岡 幸生	富岡 幸生	吉田 勝彦	吉田 勝彦	尾張 幹	尾張 幹	大庭 英雄	大庭 英雄	中根 三郎	中根 三郎	森木 茂子	森木 茂子	小池 満雄	小池 満雄	鷺澤 典子	鷺澤 典子	三好 信子	三好 信子	(敬称略) 会員氏名

第二回全国俳句大会 支部別全投句作品一覧

中部支部																支部名
				入賞							入賞					受賞
降りそそぐ古希の二人に大花火	ジクザクと夕立の糸くぐりぬけ	盆経に母のおもかげ父の声	夢去りぬとんぼの羽音蟬の声	窓開けて夜の秋知る書斎かな	風鈴や睡魔に勝てぬ昼さかり	白粉を持たせて帰へし盆終る	「プール」から夕立きたと駆けてくる	むせかえる陽炎う湧きて虫笑う	友逆きて心に刺さる蟬しぐれ	伊吹より尾張に続く雪時雨	くろぐろと去りし夕立涼残す	天の川父母のなれ初め聞かぬまま	夕立や街洗われて浅黄色	茶摘女の畝の向こうに富士の山	木曾谷を埋め尽したり大夕立	投句作品
山本 正己	山本 正己	岡村 昌裕	岡村 昌裕	柳澤 寿重	柳澤 寿重	宮内 昭三	宮内 昭三	熊谷 詔男	熊谷 詔男	千田 雅俊	千田 雅俊	平川 晴代	平川 晴代	大内 信	大内 信	会員氏名 (敬称略)

第二回全国俳句大会 支部別全投句作品一覧

関西支部																	支部名	
									入賞								受賞	
朝顔や嵐のあとに花五つ	人知れず空蝉置いて空に舞う	子ら通う傘の花咲くきつきあめ	蝉しぐれ全身に浴び散歩かな	尾瀬小屋はぼつんと一軒草紅葉	登山帽深くかぶって蝉しぐれ	鐘楼を訪ねて涼し古都の森	夕立やむ釈迎堂横で豆腐かい	冷酒ちびり何がめでたい古希なんぞ	蝉時雨今日は一切何もせず	突然の同期の訃報春去りぬ	限りある生命教える蝉時雨	あかり点す雨まらオクラ咲くときか	散歩道汗だく酷暑蝉しずか	風鈴は幸せはこぶ知らせ声	じいさんがほしものいそぐ夕立に	池の面に浮ぶ桜花や風の朝	風鈴と共に風待つ熱帯夜	投句作品
木戸 治	木戸 治	松森 和樹	松森 和樹	前川 祐助	前川 祐助	佐藤 保正	佐藤 保正	采野 久美子	采野 久美子	栞田 弘明	栞田 弘明	山本 彬	山本 彬	西端 廣亮	西端 廣亮	二宮 健	二宮 健	(敬称略) 会員氏名

第二回全国俳句大会 支部別全投句作品一覧

中国四国支部										支部名
					入賞					受賞
主人 ^{あまじ} 逝 ^ゆ きて庭 ^{にわ} の夏草 ^{なつくさ} 背 ^せ の丈 ^{たけ} に	蝉 ^{せみ} しぐれ子 ^こ らのコーラスと競 ^き いあい	孫 ^{そご} と海 ^{うみ} 今年 ^{ことし} も行 ^い けた夏休 ^{なつやす} み	五年 ^{ごねん} 祭 ^{さい} 外 ^{そと} で風鈴 ^{ふうりん} 母 ^{はは} しのぶ	祈 ^{いの} りの日 ^ひ 夾 ^{きょう} 竹 ^{ちく} 桃 ^{とう} は何 ^{なに} の色 ^{いろ}	炎 ^{えん} 天下 ^{てんか} 山 ^{やま} の爪 ^{つめ} 痕 ^{あと} 友 ^{とも} 探 ^{さが} す	猫 ^{ねこ} をとも庭 ^{にわ} の散 ^{さん} 歩 ^ぽ に罽 ^い 雲 ^{うん}	逆 ^{さか} 光 ^{ひかり} に風鈴 ^{ふうりん} 一 ^{ひと} つ猫 ^{ねこ} が寝 ^ね る	毒 ^い 食 ^{しょく} む孫 ^{そご} の指 ^{ゆび} 先 ^{さき} 紅 ^{あか} く染 ^し み	夕 ^{ゆふ} 立 ^{たち} も土砂 ^{どしゃ} も蹴 ^け 散 ^ち らす豪雨 ^{ごうう} かな	西山 裕明
久井 菜知子	久井 菜知子	井上 啓史	井上 啓史	川上 康登	川上 康登	榊井 敏彦	榊井 敏彦	西山 裕明	西山 裕明	(敬称略) 会員氏名

第二回全国俳句大会 支部別全投句作品一覧

九州支部															支部名		
						入賞										受賞	
夕立晴れ強き打球もピンそばで	土石積む軒端の風鈴いと残す	蛸に涼しさ感じるキャンプ村	カモメ舞う夕陽よこぎり海風に	夕立に泣くがごとく陽が沈む	満月や松の並木に見え隠れ	在りし日の旅の思い出タイ風鈴	カーテンで遮る先に灼くる宵	風鈴の音さえ汗ばむ孫寝顔	盆の膳犬も席取り家族増え	蝉しぐれ定命の謳歌に友偲ぶ	風鈴の音を聞かんと郷の道	鳴けよ鳴け命 繋げよ法師蝉	風鈴の涼をじやまする蝉の声	夕立や雷さまの大音声	春煙を帯びて楊柳萌葱かな	明日あるをあたりまえとし啼くや蝉	投句 作品
宮原 敬介	宮原 敬介	高濱 元彦	渡辺 順三	渡辺 順三	吉永 武彦	吉永 武彦	高橋 栄二	高橋 栄二	上野 千枝子	上野 千枝子	岩佐 隆司	岩佐 隆司	西原 哲彦	西原 哲彦	高尾 邦彦	高尾 邦彦	会員氏名 (敬称略)